

① 1 2 3 4 5

③ 5 7 9 0

⑤ 5 7 9 0



表彰状を受け取る
八木幸市役員(右)



水辺の生物を観察する
参加者

匝瑳里地里山保全会が最優秀賞に 生態系の保全などで表彰

3月6日にさいたま市で開催された「多面的機能発揮促進事業局長表彰式」で、関東農政局長から「匝瑳里地里山保全会」(齊藤寛代表)に最優秀賞が贈られました。

同会は主に匝瑳地区で、農地環境の維持や里山に生息するヘイケボタルやトウキョウサンショウウオなどの生態系の保全活動のほか、地域の小学校や高校と連携して生物の調査活動や農業体験を行っています。今回、その活動が認められ最優秀賞に選ばれました。

4月12日には同会のメンバーが講師を務める自然観覧会が匝瑳地区宮本周辺で行われ、里山の生物の観察や講義を通して、自然の大切さなどを参加者に伝えていました。

脱炭素について学ぶ そうさ脱炭素フェスティバル

環境問題や脱炭素について学ぶ「そうさ脱炭素フェスティバル2025」が3月20日、市民ふれあいセンターを会場に開催されました。

会場には、脱炭素先行地域計画の共同提案者などによるブースが出展。さまざまな環境問題の解決策に焦点を当てたドキュメンタリー映画の上映会や専門家によるトークショーなども行われ、参加者たちは環境問題や脱炭素についての知識を深め合いました。



環境問題について説明を受ける参加者



音楽に合わせたカホンの演奏

“市”の復活を目指した新イベント ぐるぐるマルシェin八日市が開催

地域おこし協力隊の北條将徳さんが中心となり、企画された新イベント「ぐるぐるマルシェin八日市」が3月8日に本町通り商店街周辺で開催されました。

会場には、ハンドメイドの家具や作品、雑貨の販売、キッチンカーなど20を超えるブースが出展。ステージでは、カホンやハンドパンなどの楽器演奏や特別ライブが開催され、大きな盛り上がりを見せました。

次回は、5月18日(日)10時~14時に開催予定です。

圧巻の舞を披露 松山神社の神楽

匝瑳地区松山の松山神社で4月13日、市指定無形民俗文化財の松山神社神楽が奉納されました。

神楽の演目は全12座。演者たちは、演目ごとに異なる面と華やかな衣装に身を包み、約3時間にわたり舞を披露しました。訪れた観客からは圧巻の舞に多くの拍手が送られました。



5座目「神楽」

春の訪れを告げる 葦茅神社の祭礼

中央地区八日市場ホ・米倉区の葦茅神社で4月6日、春の祭礼が行われました。

この祭礼は、毎年4月に開催され、神輿が地区内の拠点を回り神事を行います。軽快な囃子に合わせて神輿が練り歩く様子は、春の訪れを告げているようでした。



地区内を練り歩く神輿